

認知症作業療法 活動報告（概要）

宮崎県作業療法士会では、平成30年度より地域関連事業に重点的に取り組む「地域包括ケアシステム推進部」を新設し、その一部門として「認知症対策担当」を設けた。これまでは特設委員会（認知症初期集中支援チーム参画強化委員会）が認知症関連事業を担ってきたが、今後は常設化された部門で事業を展開していく予定となっている。

今年度も認知症作業療法の普及啓発&人材育成のためのシステム構築を目的に、下記の事業への取り組みを進めている。

【令和元年度下半期活動報告】

認知症作業療法ステップアップ研修

令和元年10月27日(日)

会場：宮崎中央公民館

「認知症の人の意味ある作業をどう捉えるのか
～作業療法介入とその効果～」

講師：井口 知也（大阪保健医療大学 准教授）



「認知症の人と家族の会」との連携事業

- ・「若年性認知症の人の本人交流会への参加」
認知症の人と家族の会が、毎月1回開催している若年性認知症の人の本人交流会へ定期的に参加。一緒に調理活動などを実施している。
- ・「認知症の人のウェルビーイングに関する調査」への協力。



【令和2年度活動計画】

認知症作業療法ステップアップ研修の開催

研修内容、開催日時等に関しては、コロナウィルスの感染状況等を確認しながら検討。

「認知症の人と家族の会」との連携事業

「認知症の人と家族の会」主催の「介護者の集い」への参加。「若年性認知症の人の本人交流会」へのサポーター協力。

認知症初期集中支援事業への参画

県内、5市町村で作業療法士がチーム員、または初期集中支援チーム検討委員会委員として活動中。

今後の展開

- ・認知症アップデート研修を継続していくために、事例や若年性認知症の人や家族介護者への理解を深めることができるような項目を従来のものに加え研修内容の充実を図る。